



田中望《波間の町（水舟）》2017年 550 x 1000mm パネルに白亜地、水干、岩絵の具、墨、箔



氏家昂大《漆貫入彩御深井鉢（銘：塩海）》2018年

若手アーティスト支援プログラム Voyage
氏家昂大・田中望展

土のみち 土のちち

2018年7月7日[土]～8月26日[日] 塩竈市杉村惇美術館
10時～17時（最終入館受付16時30分）月曜休館（ただし7/16[月祝]は開館、翌日休館）

観覧料（企画展+常設展）：一般 500円 大学生・高校生 400円 メンバーシップ 300円 中学生以下無料

団体（20人以上）：一般 400円 大学生・高校生 320円

問合せ：塩竈市杉村惇美術館 〒985-0052 宮城県塩竈市本町8番1号 電話 022-362-2555 FAX 022-794-8873

主催：塩竈市杉村惇美術館 共催：塩竈市 協力：東北芸術工科大学 TOHOKU CALLING
後援：河北新報社 朝日新聞仙台総局 毎日新聞仙台支局 読売新聞東北総局 TBC東北放送 仙台放送
ミヤギテレビ KHB東日本放送 エフエム仙台 BAYWAVE78.1FM 宮城ケーブルテレビ株式会社
仙台リビング新聞社

塩竈市杉村惇美術館

SHIOGAMA SUGIMURA JUN MUSEUM OF ART

土のみち 土のさち

4回目を数える今回は、若手作家の陶芸家・氏家昂大、画家・田中望のお二人をご紹介します。

氏は、日本の伝統的な陶芸の文脈をふまえながらも、釉薬のひび割れ「貫入」に漆を染み込ませる効果性を自在に活かすなど、技法上の獨創性がひとつの特徴といえます。そして、歪みや自然な動きを加えるなど、素材に秘められた可能性を引き出しつつ、一作ごとに個性豊かな表情を見せる作風の新鮮さが魅力となっています。

田中は、各地のフィールドワークや資料調査に基づいた制作プロセスをふまえながらも、土地の歴史や伝承をそのまま史実に伝えるのではなく、自身の実体験も基調にした作品を制作しています。現代の民話ともいべき寓意性に富む作品群は、人間と自然の循環という普遍的な営みに根ざしながら、場所と人間の関係性を問いかけています。

本展は、幾重とも知れぬ地層をたどるかのように、両作家の作品を通して私たちが生きる土地の歩みや恵みに思いを寄せ、改めて見つめあう機会になればと企画しました。両作家が地域に潜む歴史や文脈にもとづきながら、あらたな息吹を感じさせる作品群が、地域の魅力の再発見・再評価につながり、場所の成り立ち、そして未来に思いを拡げていくきっかけとなれば幸いです。



田中望《黒船の神話》2017年

若手アーティスト支援プログラム Voyage とはこれからの活躍が期待される若手アーティストの可能性に光をあて、新たなステップを提供することを目的に、展覧会を中心としてトークやワークショップ等多様な表現の機会を設ける事業です。多くの人々にとって新たな才能や感性と出会う場となるよう毎年度ごとに異なるプログラムの展開に取り組んでいます。本事業は企画や作家選定にあたり、東北芸術工科大学の特別なご協力をいただいています。

ワークショップ、トークの申込み・問合せ

宮城県塩竈市本町8番1号 電話 022-362-2555

塩竈市杉村惇美術館

SHIOGAMA SUGIMURA JUN MUSEUM OF ART

<http://sugimurajun.shiomo.jp/>



塩竈市杉村惇美術館



氏家昂大《漆貫入彩青白磁壺》2013年

ギャラリートーク 氏家昂大氏・田中望氏

7月21日[土] 10時30分～12時 | 企画展示室
予約不要・要観覧料

作品解説等、両作家によるアーティストトーク。



陶芸ワークショップ
「植木鉢をつくろう」

7月21日[土] 14時～16時

大講堂 | 講師：氏家昂大氏

参加費 3,000円 (材料・焼成費込)

定員 20名 / 要予約

手びねり成形で自分だけの植木鉢を作ります。

※小学生以上対象。また、お渡しまで約一か月半ほどかかります。

クロストーク

「場所をめぐる話 - 記録と創造の間から -」

石倉敏明氏 (芸術人類学者 / 秋田公立美術大学大学院准教授)

田中望氏 (画家)

7月15日[日] 14時～15時30分 | サロン

定員 30名 / 要予約・要観覧料

作家プロフィール

氏家昂大 (うじいえ こうだい)

陶芸家。1990年宮城県仙台市生まれ、岩沼市在住。2015年東北芸術工科大学大学院芸術文化工芸領域修了。2015年から宮城県柴田町にて制作を始める。【個展】2014年「氏家昂大展 凍陶 TOUTOU」(LIXIL ギャラリー GINZA ガレリアセラミカ / 東京)、2015年「氏家昂大展」(ギャラリー数寄 / 愛知)、2017年「氏家昂大展 -wah-」(SILVER SHELL / 東京) 他。【グループ展】2013年「アジア現代陶芸 新世代の交感展」(金沢 21世紀美術館 / 石川・愛知県陶磁美術館 / 愛知)、2016年「現代の茶碗展」(三越伊勢丹新宿店 / 東京)、「縁-enisi-」(西武渋谷店 / 東京)、2017年「新緑乃刻みたてて愉しむ現代茶の湯展」(三越伊勢丹新宿店 / 東京) 他。

田中望 (たなか のぞみ)

画家。1989年宮城県仙台市生まれ、仙台市在住。2017年東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術工学専攻修士後期課程修了。【個展】2015年「田中望展 潮つ路」(横浜美術館アートギャラリー1・Cafe 小倉山 / 神奈川) 2017年「田中望展 場所と徴候」(アートフロントギャラリー / 東京) 他。【グループ展】2014年「VOCA展 2014」(上野の森美術館 / 東京)、2016年「CAF ART AWARD Selected Group Exhibition」(HOTEL ANTEROOM KYOTO|GALLERY 9.5 / 京都)、「KAAT EXHIBITION 2017 詩情の森 かりり (語り / 騙り) の空間」(神奈川芸術劇場 / 横浜)、2017年「いのちの交感 - 残酷なロマンティスム -」(國學院大学博物館 / 東京) 他。